

地域医療連携室だより  **For you** 
ほうゆう

平成27年11月発行(第13号)

平成27年度 秋号

1. 平成27年度 ほうゆう祭り 開催

すっきりとした秋晴れ、暑いほどの天候に恵まれました。10月28日(水)に毎年恒例の<ほうゆう祭り>を開催いたしました。今年は“ご長寿借り物競争”や“お神輿合戦”ほうゆう保育園の子ども達から“おもちゃのチャチャチャ”“手のひらを太陽に”の合唱、“えびかに体操”の出し物がありました。子ども達の元気の良さに患者さん、職員も元気をもらうことができました。

(写真右：ほうゆう祭りの様子)



2. 9月の認知症家族講座



9月19日(土)第4回目の認知症家族講座を開催いたしました。『介護保険制度改正と利用について』をテーマに当法人の湘南泉病院 居宅介護支援事業の今田管理者が改正のポイントや新オレンジプラン、制度の活用についてお話しをさせていただきました。参加者18名の方の中からは“分かりやすかった”“勉強になった”等の声をいただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。

(写真左：湘南泉病院 居宅介護支援事業 管理者 今田 義明氏)

3. 認知症家族講座 ～拡大版～ のお知らせ

認知症の方の介護をされている方、興味がある方、もっと学びたい方、一緒に認知症について考えてみませんか？今回はいつもの家族講座を<拡大版>で行います。ご参加をお待ちしております。

『みんなで考える認知症の人へのかかわり方』

◆日時 11月21日(土) 13時~15時
(12時30分受付開始)

※参加費は無料です。
※定員60名 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

◆場所 横浜ほうゆう病院 会議室

◆内容 「認知症サポーター養成講座」

担当：認知症ケア専門士 原科 美津枝

「認知症の人が穏やかになるかかわり方
ユマニチュードって何??~ある病棟の事例から考える~」

担当：認知症看護認定看護師 早田 美穂

老人看護専門看護師 村山 由子



◆お申込み先◆地域医療連携室 原科・新井まで 電話 045-360-8787

4. 外来受診・入院のご案内

【鑑別診断・通院治療】

問診、画像検査、認知機能検査等を行います。
 専門医がご本人を診察し、鑑別診断の結果についてご説明し、今後の治療方針を考えていきます。
 <※MR I 検査等、詳しい検査が必要な場合には、協力医療機関に検査の依頼をしております。>
 一人ひとり丁寧に向き合うために、診察には十分な時間がかかります。
 診療は【予約制】となっておりますので事前にお電話にてご連絡下さい。
 (ご相談から1週間前後でご案内可能です。)

【入院治療】

一入院の対象となる方一

- ・認知症の周辺症状(徘徊、介護への抵抗、暴言など)でお困りの方
- ・上記の症状から施設やご自宅での生活にお困りの方
- ・ご家族の介護疲れ軽減の為の短期(2週間~1ヶ月程度)の入院を希望の方等

かかりつけ医がいる場合は紹介状のご用意をお願いしております。
 事前にお話を伺い、病状を確認の上、入院予約をお取りします。

一入院費用一

- 医療費1割負担の方…17万円前後/月
 - 医療費3割負担の方…25万円前後/月
- (お持ちの限度額認定証等により入院費用には個人差がございます。
 詳しくは直接お問い合わせ下さい。)

【看護相談外来】

認知症専門の看護師が療養生活上の相談に応じます。

<例>

- ・認知症と診断された後に必要なこと。
- ・認知症の症状への対応
- ・日常生活を整えるケア
- ・介護について
- ・介護サービスの活用 等

外来日：火・木・金
 9:45~12:30
 相談時間：1回30分程度
 費用：無料

【お問い合わせ先】

横浜ほうゆう病院
 地域医療連携室

担当：今野・新井

TEL045-360-8787

(代表番号になります。
 初めての相談とお伝え下さい。)

5. 冬の感染症にご注意下さい

空気が乾燥し、気温が低くなる冬季は感染症がピークを迎える季節でもあります。今年も新型コロナウイルス拡大の恐れがあると言われています。感染症から身を守るためには、まずはうがいや手洗いなど日常生活での予防対策が不可欠です。早めの対策で感染症を予防しましょう。

	インフルエンザ感染症	感染性胃腸炎		RSウイルス感染症
		ノロウイルス	ロタウイルス	
流行時期	11月~2月頃	11月~1月頃	2月~4月頃	11月~2月頃
主な感染経路	多くは飛沫感染と接触感染、空気感染の可能性もあり	多くは経口感染、接触感染、飛沫感染、塵埃感染		飛沫感染と接触感染
主な症状	突然の高熱(38度以上)頭痛、筋肉痛、関節痛、喉の痛み、鼻水など	嘔吐、下痢、腹痛、微熱など	嘔吐、下痢、高熱(38度以上)など	発熱、鼻水など 重症化すると、喘鳴、呼吸困難など現れる

予防には石鹸を使ったこまめな手洗いや、帰宅後のうがい、室内の空気中に病原体を停滞させぬよう、こまめに窓を開けて換気を行うことも重要です。また、加湿器を利用したりするなどして、適度な湿度(40%以上)を保ちましょう。マスク着用は自身の予防だけではなく、他人への感染防止にもなります。インフルエンザ予防のワクチン接種は抗体ができて予防効果が現れるまで3~4週間かかるので、ワクチン接種を希望する場合は早めに済ませましょう。

*次号(冬号)は来年1月頃の発行を予定しています。
 本日よりのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



一認知症疾患専門病院一

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷 644-1
 TEL: 045-360-8787(代) FAX: 045-360-8788
 ホームページ: <http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>
 地域医療連携室 担当: 原科 今野 新井